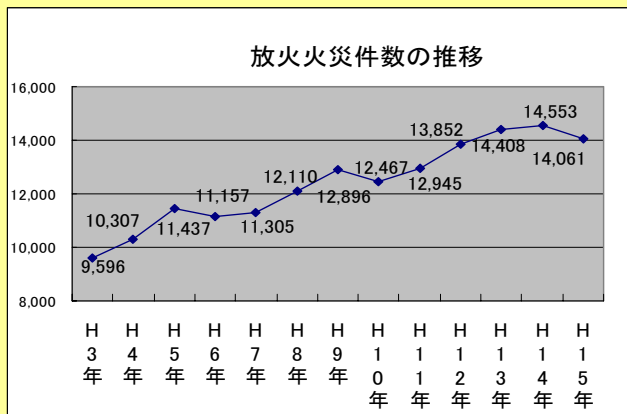


# 消防庁における放火火災防止対策の取り組み

～ 放火火災防止対策戦略プラン〔平成17年1月作成〕の概要 ～

放火火災は、

- ・平成4年以降連続して1万件超
- ・火災原因の1位で、年々増加傾向
- ・都市部の傾向が高い



- ・春秋の火災予防運動の重点項目
- ・火災予防条例の改正による対応
- ・放火火災予防対策マニュアルの作成・配布による地域の取り組み

現状とこれまでの取り組み

これからの取り組み(総合的対応策を検討)

犯罪に強い社会の実現のための行動計画  
(平成15年12月犯罪対策閣僚会議)を踏まえ

## 放火火災防止対策戦略プラン

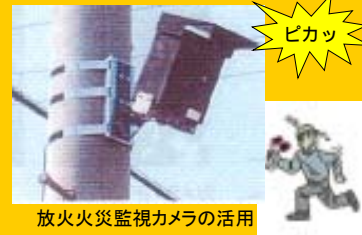
によるハード・ソフト両面からの

地域の総合的な取り組み促進

取組みを一層促進

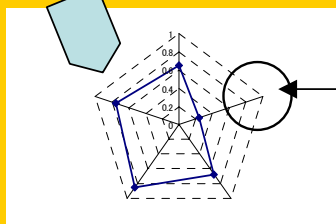
客観的指標を用いた地域住民自らによる危険度評価

中項目	ID	評価項目 (小項目)	達成度 (現状の評価)
1. 環境要因	1	前面道路は、主として近隣者だけが通行する道路ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	2	付近の道路は、深夜でも人通りがありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
	3	建物前面の道路には、街路灯が設置されていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	4	自宅付近で放火が発生した事(聞いたこと)がありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	5	付近で暴力事件、ひったくり、痴漢等が発生したことがありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	6	門扉には夜間鍵をかけていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ



放火火災監視カメラの活用

(ハード対策の例)



自己評価の低い項目を中心に  
ソフト・ハード面の対策を強化  
(対策集を例示)

レーダーチャートの活用による把握

# 放火火災防止対策戦略プランを活用した放火対策への取組みのフロー

## ①管内の放火火災の発生状況の把握

過去5～15年の放火火災件数を町内会や自治会等の単位毎に把握する。その際、放火火災情報地図を活用しつつ、管内の平均、消防本部の平均、全国平均と比較し、重点的に取り組むべき地域(町内会等)をリストアップする。

## ②管内の放火火災件数の削減目標の設定

管内の平均値を今後〇年で〇%削減する。  
(例:5年で15%、3年で10%など)

## ③放火火災防止対策を具体的に講じる地区の選定

①でリストアップした地域を中心に、②の削減目標の達成に必要な地区を選定する。  
(管内の放火火災件数の分析をもとに、重点的に対策を講じることが効果的な地区を選定)

## ④具体的に講じる地区の削減目標を設定

②の管内全体の削減目標を達成するために、③の具体的な地区で達成すべき削減目標を設定する。  
(◆◆地区で今後〇年で■%)  
(例:5年で25%、3年で12%など)  
(②の目標よりも大きめの数値目標とする。)

消防署が行う取組み

## ⑤地区の代表への説明会を実施

(個人情報保護等に十分配慮しつつ、)地区の放火火災の発生状況について、放火火災情報地図を活用しながら、具体的な事例も含めて説明する。その後、地域自らが「放火されない環境づくり」を進めることについて丁寧に説明し、削減目標の提示とプランによる取組みを促す。

## ⑥地区単位でプランによる評価を実施し、データを回収。

## ⑦点数化した上で、評価を行い、対策を説明・実施

評価シートを用いた分析を地域自らがを行い、その分析結果を具体的な数字として示す。併せて、必要な対策について、管内の放火火災防止対策の実施状況や関係機関との連携も勘案しつつ、地区と決定し、実際に取組みを行う。

## ⑧半年後、1年後等の状況を把握し、継続実施

春秋の火災予防運動、防災の日等の定期的な機会を捉え、対策の効果を数字で具体的に確認し、その効果を分析する。結果について地区に伝えて継続実施の動機付けを行うとともに、進捗状況を勘案しつつ必要な対策の追加を行う。

## ⑨目標期間終了後の評価

削減目標の設定期間の経過後の評価を行う。  
(必要に応じ適切な方法により公表等を行う。)

消防署と地域が連携して行う取組み

放火されない環境づくり

① ~

# 放火火災情報地図

※ プログラムの作成自体は  
次年度に検討



放火データ

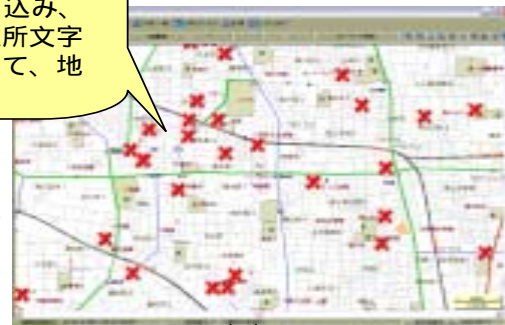
放火時間帯  
天候  
火災種別  
焼損程度  
など

データ化

外部ファイル

外部ファイルに保存されている**住所データ付き既存データ**を取り込み、住所データと地図データの住所文字列を照合し位置情報を付加して、地図上にプロットする。

データを地図へ  
落とし込む

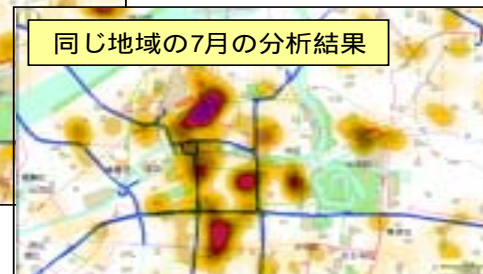
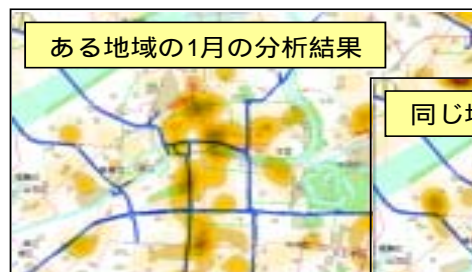
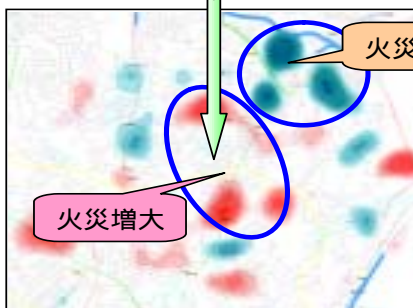


地図表示(例)

このような地域を対象として優先的に地域評価シートの配布や放火監視機器などの設置場所を選定するための目安とする。

**カーネル密度分析とは**  
どの火災が、どの地域で、どの時期に起こりやすいなどという火災発生箇所の推定を行う手法である。

様々な現象を検索対象ごとに絞り込む。この結果から類推される要因を地図上で表現する。ここではカーネル密度分析 を利用した火災発生箇所を推定する。



過去の放火火災データ(例:時間、場所、着火物など)を既存の地図上に表示し、放火火災の傾向を把握するための地図(ただし、必ずしも、放火火災情報地図の作成を放火火災防止対策戦略プランの前提としない。)

# 評価シートを活用した現状分析から対策集例の提示までの流れ

個人、事業所、商店街・団地・町内会・地方公共団体・消防本部等の様々な立場に応じ、適切な評価シートを選択・入力  
客観的なデータとして、放火火災発生危険度を視覚的に把握

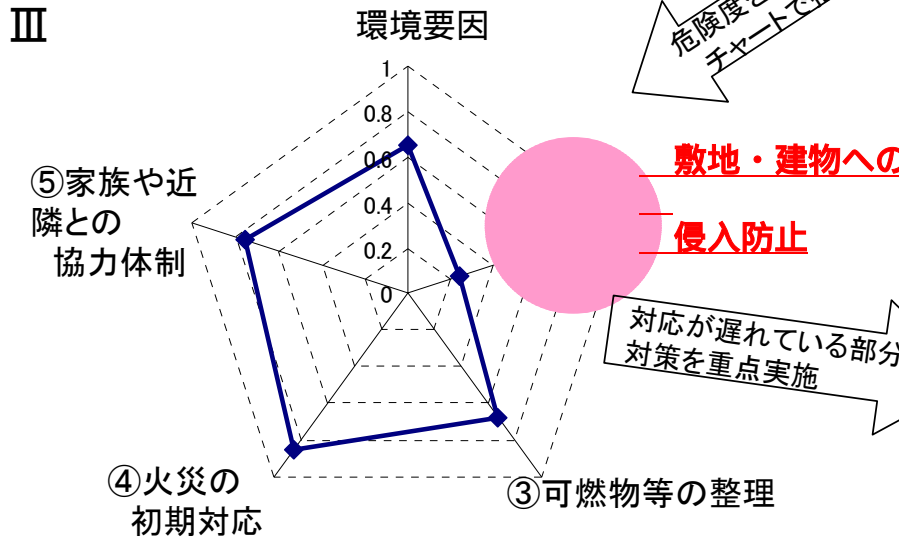
- I
- 【個人レベル用の評価シート】
  - 【事業所レベル用の評価シート】
  - 【地域レベル用の評価シート】
  - 【自治体レベル用の評価シート】

立場に応じ  
シート選択

II

中項目	ID	評価項目 (小項目)	達成度 (現状の評価)
1. 環境要因	1	前面道路は、主として近隣者だけが通行する道路ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	2	付近の道路は、深夜でも人通りがありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
	3	建物前面の道路には、街路灯が設置されていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	4	自宅付近で放火が発生したこと(聞いたこと)がありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	5	付近で暴力事件、ひったくり、痴漢等が発生したことがありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
2. 敷地・建物への	6	門扉には夜間鍵をかけていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	7	道路に面した車庫や物置には夜間鍵をかけていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
	8	敷地に他人が入りにくくなっていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
	9	深夜でも玄関灯や門灯をつけていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

危険度をレーダー  
チャートで把握



## IV ○対策集例の提示

2. 敷地・建物への侵入防止	<p>門扉・車庫・物置等、夜間における施錠管理に心がける。 容易に開錠されないための防犯ブザーを設置する。 建物や敷地に死角をつくる要因となる物の整理整頓を行う。</p> <p>..... e t c</p>
----------------	--

# 放火火災防止対策検討会委員

(委員長)

小出 治 東京大学教授 (工学部都市工学科)

(委員)

浅野 幸雄 東京消防庁指導広報部長

大野 正一 松戸市消防局消防局長

岡田 幸之 国立精神・神経センター精神保健研究所司法精神医学研究部  
精神鑑定研究室長

長澤 純一 独立行政法人消防研究所理事

成瀬 宣孝 財団法人日本消防設備安全センター理事長

能瀬 俊明 千葉市消防局予防部長

花村 信 東京電力株式会社総務部防災グループマネージャー・部長

姫野 和弘 警察庁生活安全局生活安全企画課都市防犯対策官

(第1回のみ) 首藤 祐司 警察庁生活安全局生活安全企画課都市防犯対策官)

平野 啓子 語り部・かたりすと・キャスター

松倉 正能 八尾市消防本部消防長

村田 勝彦 日本損害保険協会業務運営部長

吉井 博明 東京経済大学教授 (コミュニケーション学部)

(部会長)

松野 秀生 総務省消防庁予防課国際規格対策官兼課長補佐

(委員)

稲田 宗幸 神戸市消防局予防課長

萱村 三郎 八尾市消防本部予防課長

大西 道和 名古屋市消防局予防課長

佐々木 昇 札幌市消防局予防課長

高澤 幹夫 横浜市消防局予防課長

永美 雄幸 大阪市消防局予防課長

溝田 猛 松戸市消防局予防課長